

新建築家技術者集団 三重・愛知支部 合同企画

わが町見学会 in 三重 いなべ市・阿下喜のまちあるき



日 時：2019年10月20日（日）10:10～

※参加締切り 10/18（定員になり次第締め切らせていただきます）

場 所：三重県いなべ市・阿下喜駅（三岐鉄道北勢線） 10:10 集合

内 容：10:10～16:00 程度 阿下喜（あげき）まちあるき

・・・桐林館美術館（旧阿下喜小学校）、上木食堂（旧旅館）など予定

定 員：15名程度

※行程変更の可能性あり

資 料：阿下喜マップなど配布予定

申 込：電話 090-4270-5197 メール kuronoakihiro@yahoo.co.jp 担当：川瀬・黒野

参加費：1,500 円（昼食費・入館料など別途）

阿下喜駅を終着駅とする三岐鉄道北勢線は、あざやかな黄色の車体でかわいらしく、まちの方々に愛されています。新しいオーナーが古い建物を磨き直した再生建築が増えています。右上写真は、いなべ市阿下喜（あげき）の上木食堂で、地元旅館の解体を聞いた若者が、名古屋のシティボーイを誘ってつくったお店。また、下写真は11年に建築された、旧阿下喜小学校校舎を保存活用する「桐林館（とうりんかん）」の阿下喜美術館を地域おこし協力隊から転身した方がきりもりしています。いなべ市役所横には「にぎわいの森」もできて、おいしいお店が軒を連ねます。雄大な山々とともに生きている三重県いなべ市北勢町阿下喜を、地元の川瀬開発不動産の川瀬さん（新建・三重支部）とともに歩きます。ぜひご参加ください！



2019. 10. 20

新建築家技術者集団

三重・愛知支部 合同企画

わが町見学会 in 三重

いなべ市北勢町

阿下喜のまちあるき

あげき



10月20日（日）阿下喜まちあるき（案内：三重支部川瀬氏）、参加者9名（夕方から＋1名）でした。

合同企画で、三重支部と愛知支部の交流ができて良かったです。阿下喜まちあるきの行程は…

阿下喜駅～栄町通り～大西神社～にぎわいの森・新しいなべ市役所庁舎見学

～上木食堂（昼食）、オーナー・松本耕太さんのお話を聞く

～桐林館（コーヒータイム）いなべ市教育委員会・生涯学習課・三品さんの再利用経緯解説

～岩田商店（ギャラリー）にて鈴鹿市のキャンドルアーティスト行方兵伍さん個展など

～遊木館（館長：木村修さん、木製建具職人、88歳の現在は木工作家）木工教室

～家具工房クオリ：近澤裕司さん（当日不在のため外からの工房見学）

～夕方からは、民家を改修した自然食「千とせ」にて、三重支部・市川さんとも合流できました。

若い方たちやベテラン職人さん、阿下喜のたくさんの魅力ある人と、建物や作品、食事等に元気をいただきました！川瀬さん、みなさま、ありがとうございました。（黒野）



阿下喜（あげき）栄町通り



桐林館美術館にて（旧阿下喜小学校）

三重・愛知支部 合同企画

わが町見学会 in 三重

いなべ市北勢町阿下喜のまちあるき

十月二十日（日）阿下喜まちあるき参加者九名で、夕方から一名合流して十名となりました。三重・愛知合同企画で支部間の交流ができて良かったです。案内は、地元で川瀬開発不動産および丸正建設有限会社を営む川瀬正人さん（三重支部）にいただきました。

いなべ市は人口約四・六万人、面積二百二十平方キロメートル。名古屋市から車で五十分のところに位置し、三重県の北端です。西側に藤原岳を望み、それを超えれば近江の国、北には養老・関ヶ原があります。東の桑名と阿下喜を結ぶ二十キロの三岐鉄道北勢線は、線路幅が JR 在来線より三百ミリ狭いナローゲージで、全国では三路線しか残っていない路線です。黄色い車両がゆっくりと、ブロック積のめがね橋・ねじり橋の上を走る姿は、鉄道ファンや地元の人に愛されています。

その阿下喜は昨年、終着駅サミット開催、新庁舎（日建設計）完成、高速道路インターも建設中です。また、新しいオーナーが古い建物を磨き直した再生建築が増えています。上木食堂は地元旅館の解体を聞いた若者が、名古屋のシティボーイを誘ってつくったお店です。また、昭和十二年に建築された旧阿下喜小学校校舎を保存活用する「桐林館（とうりんかん）」阿下喜美術館を地域おこし協力隊から転身した方がカフェ経営しています。新しいいなべ市役所横には「にぎわいの森」もできて、おいしいパンのお店などが軒を連ねます。雄大な山々とともに生きている三重県いなべ市北勢町阿下喜を、地元の川瀬さんとともに歩きました。

阿下喜まちあるきの行程は、阿下喜駅～栄町通り～大西神社～にぎわいの森・新しいいなべ市役所庁舎見学～上木食堂（昼食・オーナー松本耕太さんのお話を聞く）～桐林館（コーヒータ임・いなべ市教育委員会の三品さん再利用経緯など解説）～岩田商店ギャラリー（鈴鹿市のキャンドルアーティスト行方兵伍さん個展）～遊木館（木製建具職人の木村修さん・八十八歳の現在は木工作家）～家具工房クオリ（近澤裕司さんの工房見学）～夕方からは民家を改修した自然食「千とせ」にて、市川史明さん（三重支部）とも合流できました。

栄町通りでは、古民家や酒屋の空き家を再活用すべく動いている川瀬さんの活動聞きながら、立派な空き家に驚きました。大西神社は山車小屋や立派な社があり、地元祭の拠点で阿下喜の最も西側に位置します。上木食堂は、旅館厨房をそのまま厨房にしてカウンターの雰囲気そのまま残す、床のクッションフロアも残すなどのセンスある松本さんの移住者としてのお話をお伺いしました。大家さんや地元材木店の方々に助けられながらお店をオープンするまでの経緯や、阿下喜の若い移住者とのつながりの話をいただきました。今では地元の集会の場として大活躍のようです。若い農園の方などと共に法人化していて、料理は自然野菜中心のお年寄りから子供まで喜ぶおいしい料理でした。桐林館で

は焙煎士の帖佐真之介さん（当日不在）のこだわり中国産コーヒーをいただき、教育委員会の三品さんとともに交流しました。机はそろばん塾から譲りうけたことや、これからの耐震の課題・活用方法の広げ方など話をしました。当日のお昼は待ち時間が必要なほど込み合っていて、若い女の子が木造校舎の廊下でインスタ写真を撮影する風景など見られました。桐林館は国登録有形文化財に指定されています。木製建具職人・木村さんには即席木工教室を開いていただいたり、アーティスト行方さんにカラフルな作品や炎のゆらぎなどを解説いただき、みんなで家具工房から見える藤原岳と三岐鉄道を眺めました。川瀬さんも岩田商店も上木食堂も桐林館も遊木館もみんなつながっているようです。三十代の若い方たちや八十代のベテラン職人さん、阿下喜のたくさんの方々の魅力ある人と、建物や作品、食事にたくさん元気をいただきました。

（愛知支部 黒野晶大）

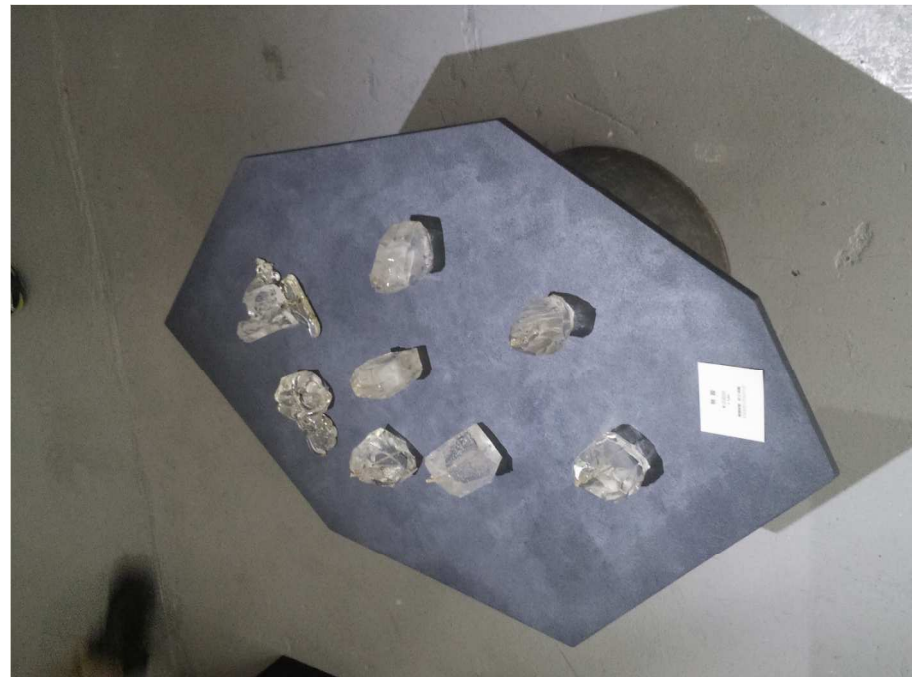












hyogo namekata 2019 exhibition

本日は個展にお越しいただきありがとうございます

キャンドルを作り始めたキッカゲは
蠟という素材に出会ったことでした

自由な成形と彩色、高い加工性
蠟という素材に自由な表現性を感じ
モノづくりをはじめました

ここに展示している作品は蠟についての
知識と技術の蓄積から作り出したキャンドルたちです

今回の展示で「蠟（ワックス）の魅力」を
キャンドルを通して伝えできればと思います

